

インターネットで気象情報を確認

- 気象庁ホームページ（気象情報全般）
http://www.jma.go.jp/jma/index.html
- 鹿児島県ホームページ
（各地の雨量や河川水位、土砂災害に関する情報など）
http://www.pref.kagoshima.jp/

大雨、台風が過ぎたあとも注意が必要です。大雨が降ったあとには、少量の雨でも土砂災害が発生する可能性があります。また、台風が過ぎた後も、風が収まるまで、なるべく外出を控えるようにしてください。台風通過後の外出や片づけ中等などに、多くの事故が発生しています。

大雨、台風が過ぎたあとも注意を！

めに避難するようにしてください。そのほか、これまで災害が起こったことがない場所でも、安心をせずに、細心の注意を払ってください。

土砂災害について

土砂災害は相当の破壊力を有しており、危険性が非常に高いため、災害発生前に避難を完了させることが必要です。しかし、土砂災害は地形や地質の条件、降雨量など複数の原因が重なり合って起こるので、土砂災害の発生を定量的に予測することは困難です。

一方で、土砂災害の発生にはいくつかの特徴的な前兆現象があります。下記のような前兆現象を確認したら、速やかに避難するよう平常時から心がけてください。 避難する際は、土砂の流れる方向と直角にいちはやく逃げましょう。

土砂災害の形態	現象とその前ぶれ（前兆現象）
<p>土石流</p> 	<p>長雨や集中豪雨などにより、山や川の石や土砂が、水と一体となって一気に下流へ流れる現象です。その流れ下るスピードは時速 20 キロから 40 キロといわれ、自動車が走る速度とほぼ同じです。</p> <p><前兆現象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○山鳴りがする。 ○雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ○川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。 ○腐った土のにおいがする。
<p>がけ崩れ</p> 	<p>長雨や集中豪雨などにより、斜面が急に崩れ落ちる現象です。</p> <p><前兆現象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○がけから水が湧き出してくる。 ○がけに亀裂が入る。 ○がけから小石がばらばら落ちてくる。 ○がけから木の根が切れる等の異様な音がある。
<p>地すべり</p> 	<p>地下水などが粘土のようなすべりやすい地層にしみこんで、その影響で地面が動き出す現象です。</p> <p><前兆現象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○沢や井戸の水が濁る。 ○地面にひび割れができる。 ○斜面から水がふき出す。 ○家やよう壁に亀裂が入る。 ○家やよう壁、樹木や電柱が傾く。

※ ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。